

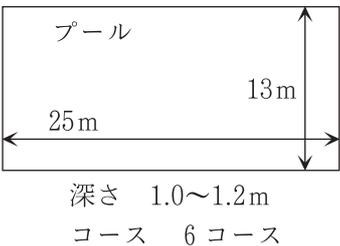
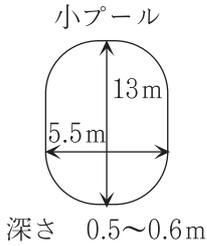
そ の 他

プール活動	114
ライフセービング・ジュニアプログラム	115
火おこし体験	116
漁り火の集い	117
マリンキャンドルの集い	118
星の観察	119
磯節鑑賞（郷土の音楽）	119



【漁り火の集い】

活動名	プー ル 活 動	活動可能人数	1 0 0 人	活動時間	2 時 間 程 度
		集 合 場 所	プー ル 入 口	活動場所	温 水 プー ル
ねらい	温水プールを利用して、楽しく活動しながら基本的な技能を身に付ける。				関 連 教 科 等
					体 育
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動可能時間 9:00～12:00 13:30～17:00 ・年間を通じて利用可能。(要相談) ・水泳キャップを必ず着用する。 ・更衣室の使用は1度に10名まで。 ・STは1名以上入水する。 				

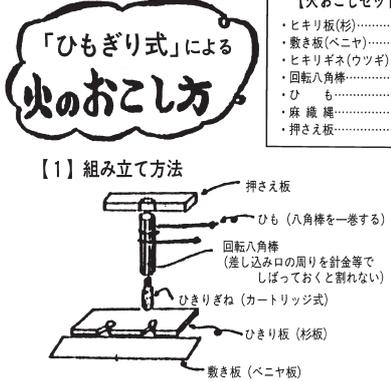
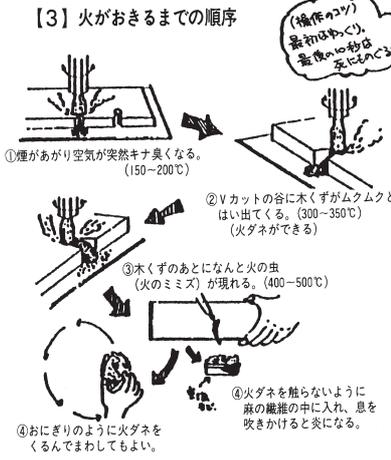
活 動	担 当	準 備 ・ 備 考
<p>1 プール使用上の注意を聞く (10分)</p> <p>※必要に応じてATが説明をする。</p> <p>(1) プールサイドは走らない。</p> <p>(2) プールにとび込まない。</p> <p>(3) 遊具を投げない。(ボール類を除く)</p>	ST ・ AT	<p>《安全等の配慮》</p> <p>※STはプールサイド等で監視し、活動者の安全を確保する。</p>
<p>2 活動開始</p> <p>・準備運動終了後、団体独自に活動を始めます。</p> <p>☆プールにある道具類は自由に使用してよいが、最後にきちんと後片付けをする。</p> <p>[プール本体の大きさ]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>プール 25m 13m 深さ 1.0~1.2m コース 6コース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小プール 13m 5.5m 深さ 0.5~0.6m</p> </div> </div>	ST	<p>※採暖室の利用を希望する場合は、事前に申し込む。</p>
<p>3 後片付け</p> <p>(1) 使用した用具を所定の場所へ戻す。</p> <p>(2) 着替え終了後、忘れ物等の確認。</p>	ST ・ AT	

活動のしるし

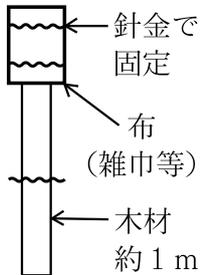
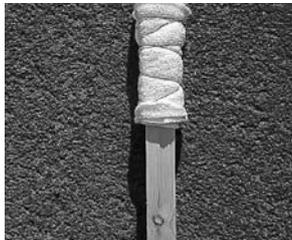
活動名	ライフセービング・ジュニアプログラム (7、8月は不可)	活動可能人数	40人	活動時間	3時間
		集合場所	プール入口	活動場所	温水プール
ねらい	ライフセービング・ジュニアプログラムを体験することにより、海との安全なかわり方や、危険から自分の身を守るために必要な知識や技能を学ぶ。				関連教科等
					特別活動 体育
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 活動可能時間 9:00～12:00 13:30～17:00 講師のメンバー構成は大部分が学生なので、実施日の調整が必要。 講師派遣には、謝金が必要。P124参照。 水泳キャップを必ず着用する。 				

活 動	担 当	準 備 ・ 備 考
1 プール使用上の注意を聞く ※必要に応じてATが説明をする。 (1) プールサイドは走らない。 (2) プールにとび込まない。 (3) 講師の指示に従って行動する。	ST ・ AT	《施設・講師準備》 ・ダイブリング ・ダイブボール ・ライフセービングボール ・レスキューチューブ ・人数によりいくつかの班に分ける。 ※班別活動時には、STがプールサイド等で監視し、参加者の安全を確保する。 ※用具を使用しての活動時には、特に周囲の安全に注意させる。
2 活動準備 (1) 講師紹介 (2) 準備運動	VT ・ ST ・ AT	
3 活動開始 ① ライフセービングについての説明を聞く。 (水や海の危険性と安全な遊び方等について) ② 実 習 ・潜水などを取り入れたゲーム ・チューブを使ってのレスキュー体験 ・ライフセービングボール投げ 等 ③ ライフセービングについてまとめをする。	VT ・ ST ・ AT	
4 後片付けとお礼のあいさつ (1) 講師へのお礼のあいさつをする。 (2) 使用した用具を所定の場所へ戻す。 (3) 着替え終了後、忘れ物等の確認をする。 (4) STは、講師に謝金を支払う。(スタッフ室)	ST ・ AT	

活動名	火おこし体験	活動可能人数	80人	活動時間	1時間30分
		集合場所	イベント広場	活動場所	イベント広場
ねらい	昔からの火おこしの方法を知り、原始的な火おこし道具を用いて火おこし体験を楽しむ。				関連教科等
					社会 総合的な学習の時間
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 火おこし道具は、1セットで5名程度活動可能。 野外調理や塩づくり等の活動と組み合わせて実施可能。 				

活動	担当	準備・備考		
<p>※STはATと活動について事前の打合わせをする。</p> <p>1 道具の準備 (5分)</p> <p>発注依頼書で発注できるもの (持参可)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・火おこし道具</td> <td>価格については → ・価格一覧参照(P129)</td> </tr> </table> <p>※火おこし以外に、野外調理・塩づくり等を合わせて実施する場合は、食材料・薪などを発注する。 ・発注物品を、スタッフ室から活動場所に運ぶ。</p>	・火おこし道具	価格については → ・価格一覧参照(P129)		<p>《施設準備》 ・新聞紙・ペンチ ・割れ止め用リング ・泡立て器・救急バッグ</p> <p>《団体準備》 ・軍手 ・火おこし道具 (発注可・ひもぎり式)</p> <p>〈火おこしの方法〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【火おこしセット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒキり板(杉)……………1枚 ・敷き板(ベニヤ)……………1枚 ・ヒキりギネ(ワツギ)…3個 ・回転八角棒……………1本 ・ひも……………1本 ・麻 織 繩……………1袋 ・押さえ板……………1個 </div> <p>【1】組み立て方法</p>  <p>【2】姿勢</p>  <p>【3】火がおきるまでの順序</p>  <p>①煙が上がり空気が突然キナ臭くなる。(150-200℃)</p> <p>②Vカットの谷に木くずがムクムクとはい出てくる。(300-350℃) (火ダネができる)</p> <p>③木くずのあとになんと火の虫(火のミミズ)が現れる。(400-500℃)</p> <p>④火ダネを触らないように麻の織繩の中に入れ、息を吹きかけると炎になる。</p> <p>④おにぎりのように火ダネをくるんでまわしてもよい。</p> <p>(参考文献)「原始生活百科」関根秀樹編著、創和出版</p>
・火おこし道具	価格については → ・価格一覧参照(P129)			
<p>2 火おこしの説明を聞く (10分)</p> <p>※必要に応じてATが説明をする。</p> <p>(1) 火おこし道具の種類 (弓ぎり・まいぎり・ひもぎり式の方法等)</p> <p>(2) 火おこしの仕方について</p>	ST ・ AT			
<p>3 活動開始</p> <p>① 火おこし道具の組み立て</p> <p>② 火おこしの役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押さえ板をおさえる係 ・ひもを引く係 				
<p>4 後片付け</p> <p>・使用した用具を所定の場所へ戻す。</p>				

活動名	漁り火の集い	活動可能人数	200人	活動時間	2時間
		集合場所	イベント広場・大アスレチック広場	活動場所	イベント広場・大アスレチック広場
ねらい	明かりを囲んでの楽しい活動を通して、仲間との交友を深める。				関連教科等 体育 特別活動・総合的な学習の時間
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営火長用衣装は、団体準備。 ・ STの指導、進行のもとで行う。 				

活 動	担 当	準 備 ・ 備 考
<p>1 用具の準備 (約30分)</p> <p>※STはATと事前打ち合わせを行い、準備について確認をする。 ◇発注依頼書で発注できるもの (持参可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ トーチ ・ 漁り火用薪 </div> <p>価格については → ・ 価格一覧資料参照(P129)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。 ・ 所定の場所から漁り火用台を選び出す。 	ST ・ (AT)	<p>《施設準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁り火用台 ・ 灯油 ・ 音響設備貸出可 ・ ちり取り ・ ほうき ・ 火ばさみ ・ 一輪車
<p>2 活動開始</p> <p>〔展開例〕</p> <p>第1部 (儀式) ～おごそかに～</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 入場、整列 (漁り火用台を中心に円を作る) ② はじめのことば (進行) ③ 歌「遠き山に日は落ちて」(1番-歌詞、2番-ハミング) ④ 営火長入場 (ハミングになったら営火長が入場) ⑤ 営火長のことば <ul style="list-style-type: none"> ・ 火に関する話や活動の意欲付けになる話など。 ⑥ 分火 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誓いの言葉などを述べさせてもよい。 ⑦ 点火 ⑧ 歌 (「燃えろよ燃えろ」など) <ul style="list-style-type: none"> ・ 火をたたえる意味を込めて元気に歌える歌を選ぶ。 <p>第2部 (ゲーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨ 歌やゲーム、スタンツなどのレクリエーション。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なごやかな楽しい集いになるように進行していく。 ・ 時間と安全の両面から、火の勢いを調整する。 <p>第3部 (儀式) ～おごそかに～</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑩ 一日の振り返り (静かに火を見つめる) ⑪ 営火長のことば <ul style="list-style-type: none"> ・ 感動をより印象づけるような話をする。 ⑫ 歌 (「今日の日はさようなら」など) <ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな曲を選び、2番以降はハミングでもよい。 	ST	<p>《団体準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着火ライター <p>《団体準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トーチ (発注可) ・ 漁り火用薪 (発注可) <p>◎ トーチ作製例</p>  
<p>3 後片付け</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 火を消す。 ア薪は完全に燃やし、残炭を少なくする。 イ水を入れた一輪車に残炭を浸し、完全に消火する。 (2) 残炭はほうきできれいに取り、一輪車で残炭捨て場に運ぶ。 ※ほうきは、水に浸して使用する。 (3) 漁り火用台は、翌朝所定の場所に戻す。 	ST	<ul style="list-style-type: none"> ※ トーチに浸した灯油が木材部に垂れないよう、火をつけるまでは布部を下に向けておく。 ※ ねらいに迫ることができれば展開例にこだわる必要はない。

活動名	マリンキャンドルの集い	活動可能人数	2 0 0 人	活動時間	2 時 間
		集 合 場 所	ス ポ ー ツ 館	活動場所	ス ポ ー ツ 館
ねらい	明かりを囲んでの楽しい活動を通して、仲間との交友を深める。				関 連 教 科 等 体 育 特別活動・総合的な学習の時間
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・船長服は団体準備 ・S T の指導・進行のもとで行う。 				

活 動	担 当	準 備 ・ 備 考
<p>1 用具の準備 (約30分)</p> <p>※S T はチェックイン担当者と事前打ち合わせを行い、準備について確認をする。 ◇発注依頼書で発注できるもの (持参可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく (7.5号) </div> <p>価格については →・価格一覧資料参照 (P129)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注物品をスタッフ室から活動場所に運ぶ。 ・スポーツ館内の「プレイルーム内用具置場」からブルーシートを出し、その上に燭台を設置する。 		<p>《施設準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燭台 ・手持ち用ろうそく台 ・営火長用ろうそく台とろうそく (50号) 1組 ・ブルーシート ・音響設備貸出可 <p>※燭台、手持ち用ろうそく台、ブルーシート等は、スポーツ館内の「プレイルーム内用具置場」に収納してある。</p> <p>《団体準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく7.5号 (発注可) ・マッチ (発注可)
<p>2 活動開始</p> <p>〔展開例〕</p> <p>第1部 (儀式) ~おごそかに~</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入場、整列 (燭台を中心に円を作る) ②はじめのことば (進行) ③歌「遠き山に日は落ちて」(1番-歌詞、2番-ハミング) ④営火長入場 (ハミングになったら営火長が入場) ⑤営火長のことば <ul style="list-style-type: none"> ・火に関する話や活動の意欲付けになる話など。 ⑥分火 <ul style="list-style-type: none"> ・誓いの言葉などを述べさせてもよい。 ⑦点火 ⑧歌 (「燃えろよ燃えろ」など) <ul style="list-style-type: none"> ・火をたたえる意味を込めて元気に歌える歌を選ぶ。 <p>第2部 (ゲーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨歌やゲーム、スタンツなどのレクリエーション。 <ul style="list-style-type: none"> ・なごやかな楽しい集いになるように進行していく。 ・安全面から、ろうそくの火は消す。 ・第3部が始まる前に再点火する。 <p>第3部 (儀式) ~おごそかに~</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑩一日の振り返り (静かに火を見つめる) ⑪営火長のことば <ul style="list-style-type: none"> ・感動をより印象づけるような話をする。 ⑫歌 (「今日の日はやさうなら」など) <ul style="list-style-type: none"> ・静かな曲を選び、2番以降はハミングでもよい。 	S T	<p>〈燭台〉45本</p>  <p>〈手持ち用ろうそく台〉75本</p>  <p>※ねらいに迫ることができれば展開例にこだわる必要はない。</p>
<p>3 後片付け</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 燭台、ろうそく台、ブルーシートは、「器具庫2」に収納する。 (2) 残ったろうそくは、持ち帰る。 		

活動名	星の観察 (秋から冬が適)	活動可能人数	200人	活動時間	1～2時間
		集合場所	メイン広場	活動場所	メイン広場
ねらい	星座や月・惑星を観察することを通して、星に対する豊かな心情や興味・関心をもつ。				関連教科等 理科 総合的な学習の時間
備考留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・STの指導のもとで行う。 ・事前に観察できる星座や惑星などを調べておく。 ・寒い時期は暖かい服装で活動する。 ・双眼鏡(20) ・星座早見盤(45) ・天体望遠鏡(7)は、貸出可。 				

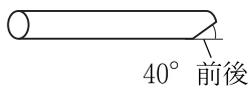
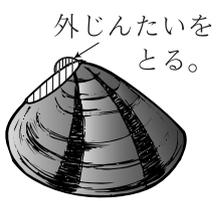
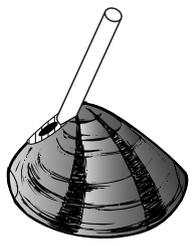
活動名	磯節鑑賞 (郷土の音楽)	活動可能人数	120人程度	活動時間	2時間
		集合場所	視聴覚室	活動場所	視聴覚室
ねらい	茨城県の磯節など、郷土に伝わる民謡を鑑賞したり、歌や踊りなどの体験をしたりして楽しむ。				関連教科等 音楽 総合的な学習の時間
備考留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・地元だけでなく全国的にも有名な講師による、本格的な演奏演舞である。 ・講師は昼間勤務や学校があるので、活動時間帯は19:00以降となる。 ・講師派遣には、謝金と講師弁当代が必要。P124参照。 ・希望があれば、踊りや歌、太鼓の体験ができる。また、団体が民謡や太鼓などを行っている場合には、交換会も可能である。 				

参考までに・・・

活動名	磯の生物観察 (春から秋の干潮時間帯が適)	活動可能人数	100人程度	活動時間	3時間
		集合・活動場所	大洗海岸(大洗町)、平磯・磯崎海岸(ひたちなか市)		
ねらい	磯に生きる様々な動植物を観察したり、その特徴を友達と協力して調べたりすることにより、楽しく磯の生物に親しむ。			関連教科等 理科 総合的な学習の時間	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・岩場や貝でけがをする事があるので肌が出ない服装がよい。(P.132活動に適した服装を参照) ・潮の干満をよく確認し、計画するとよい。 ・活動場所には団体で移動する。 				
活 動			担 当	準 備 ・ 備 考	
※STはATと活動について事前の打合わせをする。			ST ・ AT	AT要請があるとき 《施設準備》	
1	道具の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンスコープ ・参考資料 ・救急バッグ ・磯採集用具 			
2	磯の生物観察の説明を聞く ※必要に応じてATが説明をする。 ・磯場や津波等の危険についての説明 ・活動内容についての説明	《団体準備》			
3	活動開始 ・潮だまりなどで生物を捕獲し、動き方や体の作りを観察する。 ・捕獲した生物を参考資料などで調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手 ・ビニル袋(バケツ) ・わりばし(細い棒) ・ぬれても良い靴・靴下 ・長袖、長ズボン 			
4	後片付け ・捕獲した生物を海に返す。	《安全等の配慮》 ※地震が起きたら津波に警戒し、高所に避難する。			

活動プリント

活動名	創作活動 貝笛づくり	活動可能人数	20人	活動時間	2時間
		集合場所	制作実験室	活動場所	制作実験室
ねらい	はまぐりの貝殻を使って貝笛をつくることにより、創作活動の楽しさを味わう。				関連教科等
					図画工作 総合的な学習の時間

活動	担当	準備・備考		
<p>※STはATと活動について事前の打合わせをする。</p> <p>1 道具の準備 (約10分)</p> <p>◇発注依頼書で発注できるもの (持参可)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">木工ボンド 瞬間接着剤</td> <td style="padding: 5px;">価格については →・価格一覧 資料参照(P129)</td> </tr> </table> <p>・発注物品をスタッフ室から活動場所へと運ぶ。</p>	木工ボンド 瞬間接着剤	価格については →・価格一覧 資料参照(P129)		<p>《施設準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまぐりの貝殻 ・しの竹 ・小刀 ・やすり (丸形) ・砥石 <p>《団体準備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工用ボンド(発注可) ・瞬間接着剤(発注可)
木工ボンド 瞬間接着剤	価格については →・価格一覧 資料参照(P129)			
<p>2 貝笛づくりの説明を聞く (10分) (ST)</p> <p>※必要に応じてATが説明をする。</p> <p>(1) 小刀・砥石の使い方 (2) けがの注意</p>		<p>※STは活動者の安全指導に心がける。</p>		
<p>3 活動開始 全員で分担・協力する。</p> <p>※STの要請があればATが随時指導する。</p> <p>① しの竹の一方を40度前後に削る。 ② 貝殻の汚れを落とす。 ③ 貝殻のちょうつがい部分を砥石で平らに削る。 ④ 丸形のやすりで、ていねいに穴(5~6mm)を開ける。 ⑤ 貝殻を接着剤で接着し、乾かす。 ⑥ 音のよく出る位置を探す。 ・①で削った竹を貝の穴に当て、吹いて試す。 ⑦ 貝殻と竹を接着剤で接着し、乾かす。 (仕上げにニス等をぬったり、装しよくしたりするのもよい。)</p>	ST ・ AT	<p>作成図</p> <p>① </p> <p>② </p> <p>⑦ </p>		
<p>4 後片付け (15分)</p> <p>(1) 道具の片付け (2) 清掃</p>				

